

決議案第1号

ガザ地区における平和の実現を早期に求める決議について
別紙のとおり決議を提出する。

令和5年12月13日

| | | | |
|-----|---------|----|----|
| 提出者 | 甲賀市議会議員 | 西村 | 慧 |
| 賛成者 | 同 | 中島 | 裕介 |
| 同 | 同 | 堀 | 郁子 |
| 同 | 同 | 山岡 | 光広 |

甲賀市議会議長 橋本恒典 殿

ガザ地区における平和の実現を早期に求める決議

パレスチナ自治区のガザ地区を支配するイスラム組織ハマスとイスラエル軍との戦闘が始まり、2か月以上が経過した。ガザ地区においての双方の応酬によって、子どもを含めた多くの尊い人命が犠牲となっており、日に日に人道上の危機的状況の深まりが懸念されるとともに、市街地に甚大な被害をもたらしている。

こうした状況を受け、我が国を含む先進7か国のG7外相会合は、「テロ攻撃を断固として非難し、全ての人質の即時解放を求める」とした上で、「同地区の人道危機に対処するため、戦闘の人道的休止と人道回廊の設置を支持する」旨の緊急声明を発表した。

本市議会は、平成17年12月に「世界の恒久平和は、人類共通の願いである」と本市を「非核平和都市」とする宣言をした。よって、世界の恒久平和を希求する立場から、人道的危機にあるガザ地区の現状を打開するため、次に掲げる通り、一刻も早い紛争の終結を求めるものである。

1. いかなる理由があろうとも、国際法に基づき、一般市民への攻撃と非人道的行為を直ちに中止すること。
2. ガザ地区における人道危機を改善するため、水・食料・燃料・医薬品などの人道支援助物資の供給を図ること。

以上、決議する。

令和5年12月 日

甲 賀 市 議 会